第２回認知運動療法セミナー（神戸）

テ ー マ　発達障害児の世界

ー運動統合障害(dyspraxia)の病態、検査、治療の羅針盤！ー

開催概要　今、発達障害児の増加が社会的にクローズアップされている。セラピストは、どのように子どもの脳に治療的に介入すればよいのだろうか？

そのためにはまず、発達障害児の世界を知ることが大切である。

また、模倣の脳科学、感覚統合と運動統合の差異、子どもの自己意識の発達について勉強すること。そして、ピサ・ヴィゴツキー認知神経リハビリテーションセンターのプッチーニとブレギーによる「運動統合障害の検査」と「発達障害児に対する認知運動療法」の実技を体験する。それによって発達障害児への新たな“まなざし”が誕生するはずである。

今回のセミナーは、次の３つの目標を設定して行う。

① 発達障害の分類と脳の病態や行動の特徴を理解する。

② 運動統合障害の検査を実践できるようになる。

③ 認知発達を促す治療を臨床で“具体的”に実践する基本能力を身につける。

日　　程　2014 年６月 21 日（土）

会　　場　兵庫県私学会館（神戸市中央区北長狭通４丁目 3-13）

９：15	受付
９：30－10：30	発達障害児の世界を知る　（香川）
10：40－12：30	A)“壊れた脳の鏡”ー模倣と共感のブレイン・サイエンス　（宮本）
	B) 感覚統合から運動統合へ
	ー多感覚インタラクションと子どもの“自己意識”の発達
	C) 運動統合障害とは何か？
12：30－13：30	昼食
13：30－14：50	運動統合障害の検査（映像紹介・実技演習）　（高橋）
15：00－16：50	発達障害に対する認知運動療法（映像紹介・実技演習）　（高橋）
17：00－17：30	発達障害児に関わるセラピストへのメッセージ　（香川・宮本・高橋）